

1. 目標	(2) 次世代のために、健全な財政運営を行います			
とりまとめG	総務部 財務G	担当G	総務部 財務G 企画部 総合政策G	総務部 行政G

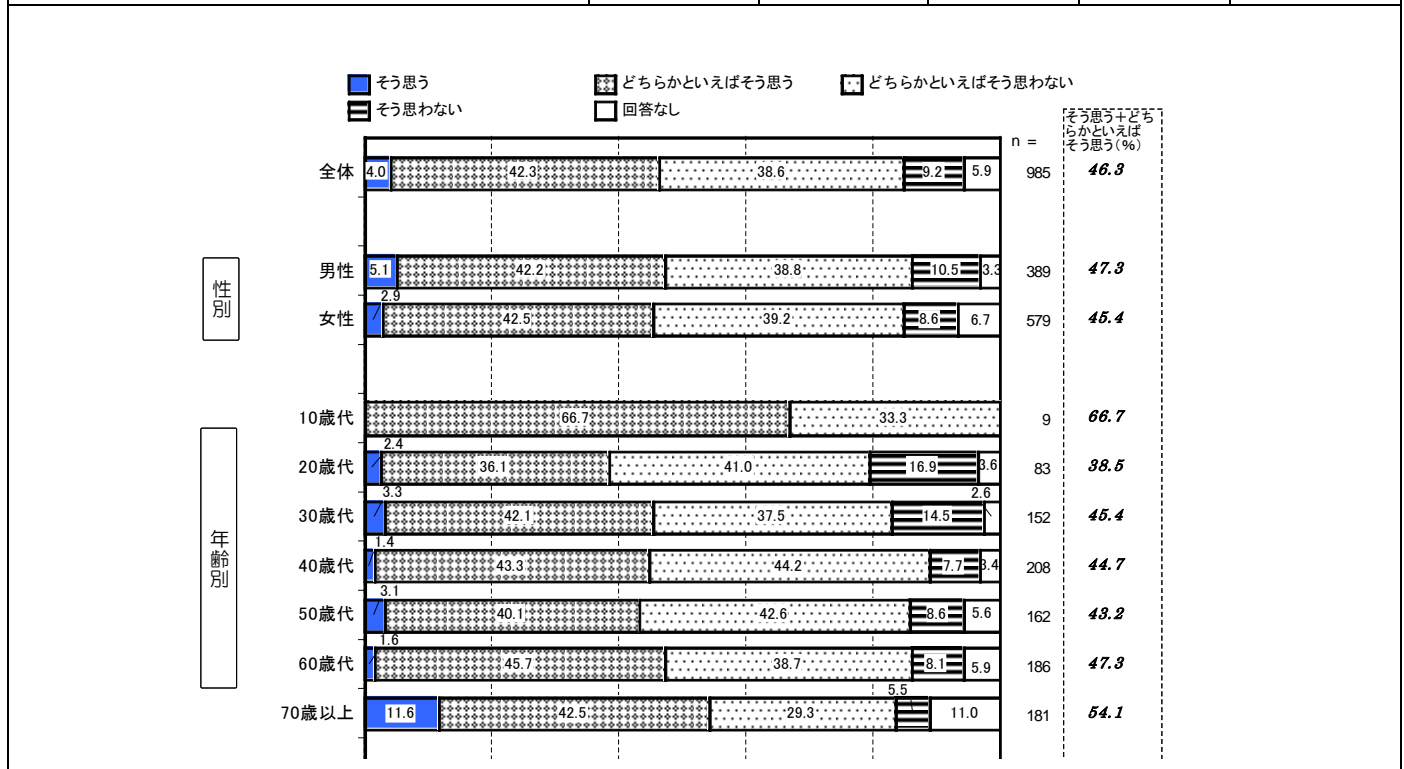
2. 目標が達成された姿
◇ 事業に優先順位をつけ、「あれかこれか」を選択する仕組みができています。 ◇ 地域の現状や課題をしっかりと把握し、歳出が最適化され、健全な財政運営が行われています。 ◇ 財政に関する情報が市民に浸透し、市民が当事者意識をもって、市の財政状況を見ています。 ◇ 効率的に行政サービスが提供され市民に喜ばれています。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—

目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度 評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) 将来負担比率	20.9%	12.3%	1.7%	将来負担 なし	将来負担 なし	
2) 市の財政状況に関心を持っている人の割合	74.2%	73.6%	68.8%	72.3%	80%	

4. 【CHECK】 市民意識調査結果

設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
将来の世代のために、借入金に頼らず健全な財政運営が行われているまちだと思う	36.1%	40.3%	43.6%	46.3%	



5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ◆ 「指標1」は、行政のスリム化や借金に頼らない身の丈にあった財政運営、「プライマリーバランス黒字」の堅持、大型公共事業の起債の償還終了により、目標を達成することができた。
- ◆ 「指標2」は、「わかりやすい予算書」の発行や「事業仕分け」、「行政評価」の実施などにより、市の行財政の「見える化」を図ってきたが、「市の財政状況に関心を持っている人の割合」は策定時に比べて若干減少する結果となった。今後も継続して、わかりやすい財政情報を工夫し、提供していく必要がある。
- ◆ 「市民意識調査」の結果は、年々上昇しており、財政情報の「見える化」により正確な情報が伝わっていることがうかがえる。

(前期) 施策評価シート

6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)

アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.3】わかりやすい財政 運営事業	ゼロベース で見直し	財政状況の提供回数	12回	11回
		市の財政状況に関心を持っている人の割合	72.3%	80%
【No.4】公共施設あり方検 討事業	改善 (進捗状況)	公共施設あり方計画推進プロジェクト会議等 の開催回数	6回	2回
		公共施設のあり方計画策定率	95%	100%
【No.5】 財政計画管理事業	改善 (進捗状況)	「事業費の抑制」による削減額	2.3億円	4.1億円
		財政調整基金残高	10.8億円	10億円
【No.6】 定住自立圏構想推進事業	現行 どおり	共生ビジョン懇談会及び各分野別懇談会 の開催回数	14回	11回
		共生ビジョンに掲げた事業の実施数	6事業	6事業

7. 【CHECK】これまでの主な取組みと成果

【No.3】平成22～24年度において、「わかりやすい予算書」を計6回発行し、特に平成24年度では、市民会議での「まちの財政を学び合う場」の実施、広報への「わかりやすい財政のお話」・「借金時計」・「預金通帳」など、市民の知りたい財政情報を定期的に掲載した。平成25年度は、広報で「学んでなるほど！財政クイズ！」の連載を、計5回にわたり行った。

【No.4】学識経験者等の専門家と市民を交えた公共施設あり方検討委員会から、「公共施設あり方計画(案)」のベースとなる「公共施設マネジメント基本方針」及び「公共施設改善計画(案)」について提言を受けた。それに基づいた公共施設保全計画(案)を専門業者に依頼しとりまとめを進めた。

【No.5】平成22年度に、中期財政計画を作成し、平成23・24年度においては、社会経済情勢を踏まえて見直しを行った。また、平成24年度の当初予算編成においては、メリハリのきいた予算編成に取り組むため、グループごとに事業の優先順位付けを行い、平成25年度の当初予算編成では、平成24年度の課題を踏まえ、重点事業の明確化や「予算編成会議」を設置した。総合計画の中期基本計画の期間における「財政見直し」を作成し、平成26年度当初予算編成に取り組んだ。

【No.6】中心市である刈谷市と締結した「定住自立圏形成協定」を具体化するための計画「定住自立圏共生ビジョン」(平成23年度策定)に基づき、4つの分野別懇談会(医療健康、公共交通、観光、共存協働)を設置し、衣浦定住自立圏共生ビジョンに掲げた事業を実施。平成25年度は、圏域内の情報サイトの運用、「コミュニティバスに乗ってみよう」パンフレットの作成、危機管理や観光に関する職員研修等を行った。

8. 【CHECK】【ACTION】課題と今後の取組みの方向性

(1) 事業の優先順位づけ・選択の仕組みの構築

これまで経験してきた「高浜版事業仕分け」や「行政評価」の経験を基に、「行政サービスのあり方」について調査・検討する。

(2) 公共施設に関する計画を踏まえた財政運営

- ◆「公共施設あり方計画(案)」を踏まえ、「長期財政見直し」を策定し、検証・見直しを行う。
- ◆適宜、PDCAサイクルによる計画の見直しができる仕組み作りを検討する。
- ◆財政情報を市民にわかりやすく提供するため、「わかりやすい予算書」や広報の掲載方法など工夫をしていく。また、自主財源の確保や受益者負担の適正化の観点から「受益と負担」の設定についての基準づくりを行う。

(3) 効率的な行政サービスの提供

- ◆引き続き、定住自立圏共生ビジョンに基づき、広域連携を推進する。
- ◆行政運営の効率化については、職員力の更なる向上と合わせて一体的に取り組む。

9. 【CHECK】第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果

- ・今後も財政情報を定期的にわかりやすく、継続して開示をしていただきたい。